

医師の数だけ、「思い」がある。

第11回

北の^{きたのくに}医人伝

北海道には、各分野の第一線で活躍する医師たちがいる。
情熱のカタチは異なっても、患者のことを思う気持ちに変わりはない。
そんな「医人」たちの横顔に迫ってみた。

整形外科専門医

社会医療法人北斗
社会医療法人北斗
北斗病院
北斗クリニク

石田直樹

Ishida
Naoki

予防とりハビリを柱とし、
患者の負担を少なく。
「関節センター」が目指す、
最先端の医療とは。

急速な高齢化とともに、関節の

トラブルに悩む人が増えている。

最も多いのは「変形性関節症」。

関節に痛みや腫れが生じ、それが

続くとやがて関節が変形してしま

う。「変形性関節疾患の中で、現

实的に患者さんから治療のニーズ

が高いのは、やはり歩行に関わる

膝や股関節です。「歩けない」と

いうのは、現実の問題としてやは

り大きい。原因は様々ですが、もっ

とも一般的なのが加齢変性です。

加齢とともに、軟骨部分が徐々に

磨り減って行き、歩行困難をきた

すのです」と語るのは、帯広市に

ある「北斗病院」の副院長、石田

直樹先生だ。同院では変形性関節
症、関節リウマチ、スポーツ外傷な
どの関節疾患を対象に専門チーム
体制で治療にあたる「関節センター」
を、外来専門棟の「北斗クリニク」
内に5年前から開設。石田先生は
そのセンター長も務めている。

「整形外科の専門分野は多岐に
渡るのですが、その中で関節に
特化したセンターの開設は、患
者さんにもわかりやすいと考え
たのです」

現在、関節センターの医師は常
勤が3名、非常勤が1名の4名体
制。手術時やその前後には脳神経
外科、循環器科、麻酔科などと連
携する。リハビリスタッフが充実
しているのも特色で、約150人
という全国有数の規模を誇る。さ
らに、より正確な診断と「患者さ
んの負担を軽減したい」という思
いから、3次元的な断面写真の撮



単純X線撮影の画像(左)は情報が重なり合い
わかりにくい。トモシンセシス撮影の画像(右)
は断面ごとの詳細な状態を把握しやすい。

影(トモシンセシス撮影)が可能
な最新のX線撮影装置を道内で初
めて導入した。

「従来の断面写真はCTで撮影
していましたが、被ばく量の多さ
が問題でした。しかし、新たに導
入したトモシンセシス撮影は被ば
く量が約1/10で、断面ごとの細
かい画像を得られます。撮影時間
はわずか10秒程度。患者さんに負
担をかけずに、骨の付き具合や形
態の変化などの細かな状態を見る
ことができるのが特徴です」

診断と検査の結果、初期の疾
患であれば薬物治療と日常生活
指導などで済む場合もあるが、
病態がある程度まで進んでいる
場合は、ごく小さく切開してカ
メラを使う「関節鏡視下手術」
を行う場合がある。傷が小さい
ので、安全かつ短期入院で済む。
それでも不十分な場合は「骨切

り術」や「人工関節置換術」を行
うことになる。「軟骨が著明に磨り
減ってしまった状態は、酷い虫歯だ
と思っていたかとわかりやすいで
す。悪い部分を削って、歯でいえば
差し歯に相当するのが人工関節で
す。失われた軟骨の役割を人工関
節が果たし、痛みもなく滑らかに
歩くことができるようになります。
ただ、骨格を治しても筋力が衰え
てしまっていると十分に機能する
ことができません。そのため、関
節の痛みは早期発見と早期治療が
望ましい」と語る。入院期間はリ
ハビリを含め股関節なら3週間、
膝の場合は4週間程度だ。

治療とともに取り組んでいるの
が予防に繋がる啓蒙活動。関節疾
患についての知識を広めるために
「北斗関節フォーラム」などのシ
ンポジウムや講演会を定期的に開
催している。また、リハビリ教室
も開催し、毎回対象を決めて、面
談や指導を行う。早期の予防で症
状の悪化を防ぐことができるので、
啓蒙活動が続けることが重要だと
いう。今後はこれをさらに進め、
予防指導などを行う「膝ドック」
の開設を目指している。

「センター開設から5年が経過し、
十勝管内では皆さんに周知されて
きたかなと思います。今は下肢中
心ですが、今後は上肢や、脳外科

道内で初めて導入した、トモシンセシス撮
影が可能なX線撮影装置。1回の撮影で
数十枚の連続断面画像によるボリュームデ
ータが得られるので、人工関節や金属近辺
の骨の状態をさらに明瞭に描出する。



PROFILE

1964年生まれ、豊富町出身。1989年、旭川医科大学医学部卒業、北海道大学整形外科入局。1998年、釧路労災病院勤務。帯広厚生病院勤務を経て、2008年より北斗病院勤務、同院副院長。同年、北斗クリニック内に関節センターを開設し、センター長に就任。整形外科専門医、スポーツ医、リウマチ医。

関節機能の問題を解決して、患者さんの素敵な笑顔を見ることが医師として一番の喜びです。



社会医療法人北斗 北斗クリニック

帯広市福田町基線9番地1 TEL.0155-47-8000
診療受付時間／8:00～11:30
12:00～16:30(土曜は午前のみ)
休診日／日・祝日
<http://www.hokuto7.or.jp/>

社会医療法人北斗 北斗病院

帯広市福田町基線7番地5 TEL.0155-48-8000
診療受付時間／8:30～11:30
12:00～16:30(土曜は午前のみ)
休診日／日・祝日
※整形外科の外来診療は「北斗クリニック」にて。

と協力して脊椎などの対応も強化して行けたらと思っています」と語る医人は、常に笑顔を見ることが「患者さんが『病院に来て良かった』と思える医療を提供したいんです。そのためには、まず笑顔とコミュニケーションが大切です。関節機能の問題を解決して、患者さんの素敵な笑顔を見ることが医師として一番の喜びです」